

■国立公園満喫プロジェクトについて

- ・環境省では、政府が 2016（平成 28）年 3 月 30 日にとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図る「国立公園満喫プロジェクト」を開始しました。同プロジェクトでは、2020（令和 2）年を当面の目標年と定め、先行的・集中的に取り組を進める 8ヶ所の国立公園（以下「先行 8 公園」といいます。）を中心に訪日外国人の誘客に向けた様々な取組を進めてきました。

新型コロナウイルスの感染拡大による影響に伴い、訪日外国人増加の目標達成は実現できませんでしたが、コロナ終息後の社会を見据えて引き続き国立公園における訪日外国人誘客をはじめとする観光活性化の施策を継続していく方針となっています。

- ・阿寒摩周国立公園は、先行 8 公園の 1 つとして、2020（令和 2）年まで集中的な取り組みを進めるとともに、2021（令和 3）年 2 月には「阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2025（以下「SUP2025」といいます。）を策定しています。SUP2025 では、重点的な取組の 1 つとして「官民連携による利用拠点の再生」を掲げており、廃屋撤去等によるまちなみ景観の改善を通じて、新たな民間投資を呼び込むこととしています。

■川湯温泉地区における取り組みについて

- ・川湯温泉地区においては、まちづくり基本構想の策定（弟子屈町）、温泉川の清掃、歩道整備とライトアップ（住民、町）、民間施設の改修（民間事業者）、廃屋の解体撤去、川湯ビジターセンターの改修やカフェ導入（環境省）など様々な主体により面的な魅力向上の取り組みが進んでいます。
- ・現在、弟子屈町による「阿寒摩周国立公園川湯温泉街まちづくりマスタープラン」の策定が進められており、今後、星野リゾートによる宿舎事業の実施に加え、マスタープランに基づくまちづくりを進めていく予定です。

■川湯温泉廃屋撤去跡地における宿舎事業の公募について

- ・川湯温泉地区では、環境省及び弟子屈町において廃屋を撤去した跡地について、川湯温泉の再生による地域の活性化及び国立公園における上質なサービスの提供を目的として、令和 4 年 9 月に宿泊施設を整備・運営する民間事業者の公募を行いました。
- ・公募は、入札に併せて提案書を受け付け、価格（「貸付料額（貸付料の年額×50 年分）」と技術等の総合評価によって落札者を決定する総合評価落札方式により行い、星野リゾートが落札者として決定されました。

【位置図】

